

2/18

**秋どり推進で
5億円達成**
JAトマト部会

第12回通常総会を開きました。令和7年度の販売金額は5億2577万円（計画対比126%）で過去最高となりました。秋どり推進チームが中心となり、秋どり作型の推進に取り組み、需要の高い9、10月の出荷量増加と高単価での販売につながりました。



最優秀賞を受賞した村上真さん[㊟]

2/17

高温対策に栽培見直しへ
JAなす生産部会



最優秀賞を受賞した千葉琢磨さん[㊟]

令和8年度通常総会を開きました。不安定な天候で影響を受けた令和7年度の実績を踏まえながら、栽培技術の見直しや資材の検証などに取り組み、販売金額2億3500万円を目指します。任期満了に伴う役員改選では、新部会長に菅原慎也さんを選任しました。

2/18

適正管理でブランド向上
JA肥育牛部会



枝肉販売優良表彰を受賞した皆川真武さん[㊟]、千葉大さん[㊟]

第12回通常総会を開き、令和7年度に優秀な成績を収めた部会員を表彰しました。素牛頭数の減少により素牛価格が高値で推移し、飼料費の高止まりなど厳しい環境が続く中、今まで以上に1頭1頭を適切に管理し、「いわて南牛」の生産に取り組むことを決めました。

2/25

生産率向上で有利販売へ
JA和牛生産部会



支部表彰を受ける室根支部の代表者[㊟]

第12回通常総代会を開きました。令和8年度は、生産基盤の強化を重要課題に挙げ、母牛の更新や生産率の向上を図り、優良子牛の安定供給と有利販売に向けた販売対策に取り組むことを決め、販売頭数2300頭、販売金額15億1800万円を目指します。

2/25

研修行い部会事業活性化
JAきゅうり部会



慎重に議案を進める部会員

第11回通常総会を開きました。令和7年度は高温対策に継続して取り組んだ他、研修などを行い部会事業の活性化を図り、前年を上回る反収を確保しました。令和8年度は、かん水装置の導入による反収向上などで、販売額2億5600万円を目指します。



農業機械に注目する来場者

農業機械展示即売会をJA一関農機センターで開きました。農機メーカー15社の最新機種や中古モデルの農機具が展示されました。春の農作業シーズンを前に2日間で約400人が来場し、JA担当者やメーカー担当者に熱心に相談する姿が見られました。

3/13

最新の農業機械求め盛況



計量を終えトラックに積み込まれる阿部さんの去勢牛

第25回いわて南牛枝肉研究会を開き、最優秀賞には、阿部秀樹さん（一関）の去勢牛が輝きました。3月3日に東京食肉市場で審査と競りが行われ、5等級に21頭、4等級に1頭が格付けされ、上物率は91・6%。全体的に肉質も良く、好成績を収めました。

2/28

阿部さんの去勢牛最高賞



原木シイタケの部で優秀賞を受賞した小岩良雄さん

第12回通常総会を開きました。令和8年度は、栽培技術の向上による生産量の確保と品質向上に取り組み、全体販売額7048万円（系統販売額4660万円）を目指します。

3/4

シイタケ栽培品質高める JA椎茸部会



拍手で議案を承認する部会員

令和7年度販売実績検討会・令和8年度通常総会を開きました。令和7年度の販売金額は3064万円（前年対比109%）。集落営農組織などへの推進により産地拡大を図ります。

3/3

さらなる産地拡大目指す JAねぎ部会



最優秀賞を受賞した齋藤満政さん

令和8年度通常総会を開きました。気象変動や病害虫に対応するため栽培技術や技術の情報発信に取り組み、生産者28人で販売金額5000万円を目指すことを決めました。

2/19

病害虫と高温対策重点に JAミニトマト部会



果実品評会サンふじの部金賞を受賞した佐藤芳一さん

令和7年度販売実績検討会・第6回通常総会を開き、気候変動への対応や担い手の活動などに取り組みなどを確認しました。販売金額2億2861万円を目指します。

3/6

気候変動の取り組み強化 JA果樹部会



乳質向上共励会個人の部名誉賞の藤丸良行さん

第12回通常総会を開きました。乳質改善事業や牛乳生産管理、畜産共進会、夏場の飼養管理や暑熱対策などに取り組むことを決め、新部会長に熊谷忠人さんを選任しました。

3/6

夏場の暑熱対策を重点に JA酪農部会



蔬菜専門部で優良生産者表彰を受ける小野寺彰さん

第12回通常総会を開きました。令和8年度は、食の「安全・安心」を最重点とし、補間品目や秋冬野菜・加工野菜の定着拡大を進め、17品目で販売金額2421万円を目指します。

3/5

食の安全・安心最重点に JA野菜部会